

ECALGA Ver2004Aの主な変更点

電子業界における企業間の全ビジネスプロセスを電子的にシームレスに繋ぎ、相互の経営効率向上を目指す業界標準であるECALGA (Electronic Commerce ALliance for Global business Activity) の2004年度版 (E C A L G A 2 0 0 4 A - R e v 0 1) として、新たに2つのビジネスモデルを中心に、リリースします。

2004年11月
JEITA/ECセンター

ECALGA Ver2004Aの主な変更点(コラボレイティブEDI)

1. サプライチェーンをサポートする標準の追加
調達・供給プロセスに緻密な調整が必要な隘路部品向けに

「所要計画と予約注文を活用した協業モデル」 (隘路部品)

「所要計画を活用した協業モデル」 (汎用部品)

預託倉庫活用による汎用部品を中心とした調達プロセス標準

「コンサイメント協業モデル」(預託倉庫と在庫を発注者管理)

「JEITA - VMIモデル」 (預託倉庫は物流企業等が管理)

(預託在庫は受注者が管理)

2. エンジニアリングチェーンをサポートする標準の追加

「納入仕様書交換」のバージョンアップ

製品仕様部分をPDF + XML形式で提供可能に

発注側で納入仕様書情報を再利用できる形式に

ECALGA Ver2004Aの主な変更点(ベーシックEDI)

3 . 下請法改正への対応

「下請代金支払遅延等防止法(下請法)」が2004年4月1日改正

下請法取引対象範囲の拡大

従来の製造委託 + 情報成果物作成委託・役務提供委託

「仕様」「価格」「納期」等の未決定事項に対処

JEITA / ECALGAを用いた電子商取引においては

(1)ベーシックEDI

「EIAJ - EDI標準」(赤本)での対処内容と同一で今回改訂

(2)コラボレイティブEDI

次期バージョンにて対応予定

4 . 請求支払い

一般取引の照合手順に返品・支給品・コンサイメント取引を追加